

令和6年6月

「信頼される学校であるための行動計画」

三重県立四日市商業高等学校長

1. 「風通しの良い働きやすい職場環境づくり」

- ・ 職員のコミュニケーションや情報共有を大切にし、仕事上の問題や困ったり悩んだりしていることなど一人で抱え込むことなく声を掛け合い、フォローし合える環境を作ります。
- ・ 職員が互いに周りの様子を見て、他の職員の変化（身体的・精神的）に早く気づき、必要な時に声をかけられる職場環境をつくります。
- ・ 保護者、地域、関係機関との連携・協力を図ります。

2. 「相談しやすい環境づくり」

- ・ 管理職や職員同士が気軽に話ができる環境をつくります。
- ・ 管理職は、ストレスチェック等を活用し、職員と面談する機会を多く持ち、ストレスとなる要因（仕事内容や部活動指導、勤務時間等）を丁寧に聴き取り、改善策について話し合います。
- ・ 管理職は、職員の居室に出向き、情報交換を積極的に行います。

3. 「不祥事根絶のために行うこと」

- ・ 学校信頼向上委員会を定期的で開催し、課題や問題点を洗い出し改善策を提案、実施します。
- ・ 企画委員会、職員会議、学年会、教科会、分掌会議などで随時不祥事根絶のための話し合いを行います。
- ・ 生徒への不適切な発言、体罰、セクシャル・ハラスメントや個人情報の管理、交通事故などの具体的な事例を活用するなどし、不祥事を自分事としてとらえられるようにコンプライアンス研修を全職員対象に学期に1回（年3回）実施し、コンプライアンス意識を高めます。
- ・ 職員は、セルフチェックシートを活用し、コンプライアンスの意識を常に持ちます。
- ・ 管理職から職員へ機会があるごとに随時コンプライアンスに関するメッセージを発信します。